

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイリーライフ学習特化型		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数) 31人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実 そろばん	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に応じた専門性のある活動内容 ・そろばんという道具の使い方 ・補数の学習 ・計算力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃とは違う場所での検定 ・検定挑戦の為へのそろばんのレベルアップ ・買い物体験を通してお金の使い方
2	活動の充実 ブロックサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に応じた専門性のある活動内容 ・プログラミングへの基礎作り ・レゴエデュケーションの教材より実の回りにある動く仕組みを体験しながら学習 ・興味と探求心により遊びながら楽しさを実感し学習へつなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングを踏まえロボットを使用し自らプログラミングを考え実行する ・パソコン操作の習得 ・プレゼンカアップ
3	活動の充実 英語	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に応じた専門性のある活動内容 ・「聞いて話す」に重点をおいている ・カードゲームやYouTubeを使い楽しく学んでいけるよう考えている ・リスニングや発音練習を通して正しい英語の発音や使い方の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・英検、英検Jrへの挑戦 ・新たな場所のためらうことなく入っている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援(ペアトレ) 家族の参加	家庭支援の重要性は認識しているものの、職員体制や時間的制約、専門的知識への不安から体系的な実施に至っておらず、年間計画への明確な位置付けや実施方法の標準化が今後の課題であると考える。	家庭支援を特別な取り組みとして促えるのではなく、日々の助言や面談を体系化し年間計画に位置付けるとともに、具体的に実践しやすい内容を継続的に提供する体制づくりが必要であると考える。
2	SNSの発信・認知力	日々の支援業務を優先する中でSNS発信の体制や役割分担が明確化されておらず、発信目的や戦略が整理されていないことから、継続的かつ効果的な情報発信に至っていない点が課題であると考える。	SNS発信の目的を明確にし、担当者および投稿内容を仕組み化することで継続的な情報発信体制を整備し、事業所の強みを具体的に言語化・発信していくことが今後の改善に向けた重要な取り組みであると考えている。
3	地域交流・公民館交流などの発信	地域交流の重要性は認識しているものの、実施体制は連携先の開拓が十分でなく、年間計画への明確な位置付けや発信体制の整備が今後の課題であると考える。	地域交流を年間計画に位置付け、継続的な連携先を確保するとともに、実施後の情報発信までを仕組み化することで、地域とのつながりを可視化し事業所の社会的役割を高めていく事が必要であると考える。